

《農業の総合産業化で高付加価値、農業所得向上プロジェクト》

市町村	庄内町	対象地域	余目地域	分野	農林水産物の加工（土地利用型作物）
実施主体名	余目町農業協同組合	代表者氏名	代表理事組合長 森屋要二	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	庄内町余目字三人谷地172
実施主体構成	JAあまるめブランド米振興会（388人）				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	特別栽培米・特別栽培餅米を加工しての販売高 450,000千円（17,336千円）				
	特裁米の加工使用目標	特別栽培米使用 2,556俵→2,600俵 特別栽培餅米使用 2,243俵→2,500俵				
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）
	産出額	432,664千円	425,000千円	430,000千円	445,000千円	450,000千円
	特裁米使用	2,556俵	2,300俵	2,400俵	2,500俵	2,600俵
	特裁餅米使用	2,243俵	2,300俵	2,400俵	2,500俵	2,500俵
プロジェクト概要	◎実施方針	特別栽培米・特別栽培餅米を加工品として販売し、利益を構成員に還元。				
	○産出額の増大	米飯類、餅・赤飯等の既存店への販売拡大、新規取引先を拡大し5年後には17,336千円の増加額を目指す。				
	○雇用の創出	地域雇用の場として37名を雇用、障害者の採用も実施した。プロジェクト事業により3～4名を雇用する。平成25年の雇用人数 3人/日。				
	○創意工夫	地域農産物に高い付加価値をつけて販売し、農家所得の向上を図る。				
	○実現性	生産基盤と技術は確立している。JA販売による流通が確保され目標達成が明確である。				
	○地域への波及効果	環境保全型農業・耕畜連携・地産地消への波及効果が高く、安全・安心な商品提供と地場農業の活性化に繋がる。				
	○その他	JAあまるめブランド米振興会は平成20年全国環境保全型農業推進コンクールで農林水産大臣賞を受賞。				

		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成 年度）
事業内容		①炊飯反転ほぐし機、②いなりロボット、③のり巻ロボット	